

R 8 国語科 シラバス

学 年	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	
教科の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。また、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。			
教科における 学年目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じた的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にすることを育てる。 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。 さまざまな種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高める。また読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて、的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉や表現力を豊かにしようとする態度を育てる。 さまざまな材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして 論理的に書き表す能力を身につけさせるとともに、文章を書き表すことにより生活を豊かにしようとする態度を育てる。 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする 態度を育てる。 		
年間授業時数	140時間（週4時間）	140時間（週4時間）	105時間（週3時間）	
学習 内容 ・ 単元	1学期	1 「言葉に出会うために」 ・言語（学習の基本・詩） 2 「学びをひらく」 ・物語・話す、聞く・漢字1・情報 3 「新しい視点で」 ・説明文・話す、聞く・情報・文法1 4 「言葉に立ち止まる」 ・詩・言葉・説明文 「いつも本はそばに」	1 「広がる学びへ」 ・詩・小説・古文・書く・漢字1 2 「多様な視点から」 ・説明文・話す、聞く・情報・文法1 3 「言葉と向き合う」 ・短歌、解説・言葉・随筆・言葉1 「いつも本はそばに」 ・物語・読書活動	1 「深まる学びへ」 ・詩・小説・漢文、解説 ・話す、聞く・漢字1 2 「視野を広げて」 ・説明文・書く・文法1 「情報社会を生きる」 3 「言葉とともに」 ・俳句、解説・言葉・文法言葉 「読書生活を豊かに」 ・小説・読書活動
	2学期	4 「心の動き」 ・物語・記録・書く・漢字2・言葉2 5 「筋道を立てて」 ・説明文・話す、聞く・書く・詩 ・漢字3 「読書に親しむ」 6 「いにしへの心にふれる」 ・古文音読・古文解説・古文・漢文 7 「価値を見いだす」 ・書く・漢字4・文法2・読書 「いつも本はそばに」	4 「人間のきずな」 ・小説・随筆・書く・言葉2 ・漢字2 5 「論理を捉えて」 ・評論・話す、聞く・書く・詩 6 「いにしへの心を訪ねる」 ・古文音読・古文・漢詩、解説 7 「価値を語る」 ・評論・解説・文法 「いつも本はそばに」	4 「状況の中で」 ・詩・小説・言葉2・漢字2 5 「自らの考えを」 ・論説文・話す、聞く・書く・詩 6 「いにしへの心を受け継ぐ」 ・古文音読・古文・古文、解説・漢文 7 「価値を生み出す」 ・論説・書く・漢字3・文法2 「読書に親しむ」
	3学期	8 「自分を見つめる」 ・小説・言葉3・漢字3・書く・随筆 ・文法3・話す、聞く・詩 9 「学びを深める」	8 「表現を見つめる」 ・小説・文法3・書く・言葉3 ・漢字3・話す、聞く・詩 9 「学びを深める」	8 「未来へ向かって」 ・随筆・詩 ・話す、聞く、書く 9 「学びを深める」
評 価 の 観 点	1 言葉の特徴や使い方、情報の扱い、古文や漢文の知識が身につけている。（国語に関する知識・技能） 2 筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりできる。文章の内容を適切に読み取ることができる。目的や意図に応じて感じたことや考えたことを相手にわかるよう書くことができる（国語の思考力・判断力・表現力） 3 知識・技能の獲得、思考力・判断力・表現力を身に付けることに向けた粘り強い取り組みを行い、自らの学習を調整している。（主体的に学習に取り組む態度）			
評価の方法	1 授業中の態度や参加の様子（挙手・発言・話し合い・聞く態度） 2 ノート・ワーク・レポート・作品などの提出物 3 定期テスト（中間・期末） 4 小テスト、作文、スピーチ、朗読など			